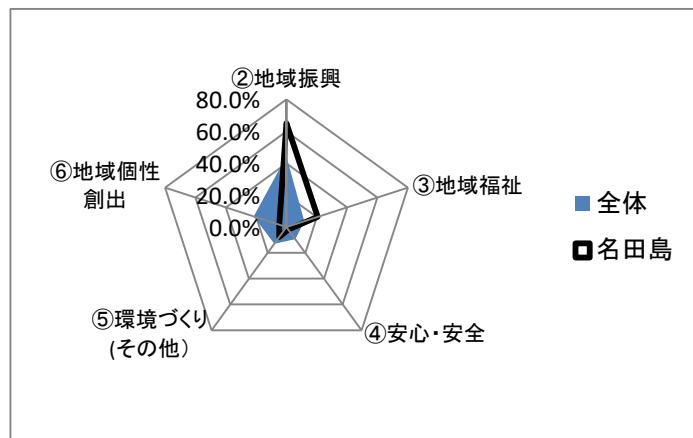


名田島自治会連合会 地域づくり交付金事業概要(令和6年度)

■地域の情報

地域人口	1,065人	自治会数	13
世帯数	459世帯	自治会加入率	89.1%

※数値は、令和7年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	8,019,000 円
交付金決算額	8,019,000 円
その他収入	27,466 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	3,761,162 円
②地域振興	1,507,573 円
③地域福祉	475,718 円
④安心・安全	43,976 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,969,000 円
⑤環境づくり(その他)	178,316 円
⑥地域個性創出	110,721 円
決算総額	8,046,466 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民及び各種団体が連携・協力して、第4次名田島地区協働まちづくり計画を推進します。

■総括

本年度からスタートした「第4次名田島地区協働まちづくり計画」は、第3次計画の活動目標と活動内容を大幅に見直し、さらに住民アンケートも実施して地域課題を再確認の上、具体的な活動内容は喫緊の課題を中心に引き上げて精選して作成したものである。令和6年度は、第3次計画からの継続事業を中心に実施したほか、市の定住促進事業の推進にも協力した。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に変更され、令和6年度は、ほぼコロナ以前の実施内容で事業を行うことができた。「地区民体育大会」は「名田島田園運動会」と改称して再開できた。夏以降に開催した「名田島ちょうちんちよこっとまつり」と「ふるさとまつり」も予想を超える多くの参加者を得ることができた。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費(事務局長:1名 事務員:2名)
② 地域振興	一集落一事業、広報活動、イベント補助、第4次計画推進費
③ 地域福祉	健康増進活動補助、世代間交流、子ども健全育成事業補助
④ 安心・安全	地域防災活動の促進 交通安全対策
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、地域環境づくり、地域環境美化
⑥ 地域個性創出	ふるさと大学の開講 小学校芝生化グラウンドの利用促進事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	広報活動	決算額	587,363円
	目的	地域づくり活動、「第4次名田島地区協働のまちづくり計画」の進捗状況等、適時広報する。		
	実施内容	①総会資料 ②広報紙「田園」 ③「自治会連合会だより」による会議等の結果報告 ④ホームページの拡充・フェイスブックの定期的な更新 ⑤iPadを活用して名田島の姿をPR		
	実施時期	①4月 ②年3回(8月、12月、3月) ③毎月1回 ④⑤随時		
	参加人数	地区内外多数		
	成果	①～③全世帯配付(約500戸) ④随時更新 ⑤随時使用		
	評価	①～③自治会連合会の活動状況を地区民に周知し情報共有に努めた。④⑤ホームページの拡充を図ると共に、フェイスブックにより地域のイベントや映えスポットをリアルタイムに発信し閲覧者の拡大に努めた。		
	今後に向けて	更なる内容の充実に努め情報発信を図りたい。		
②	事業名	名田島地区フットパスの構築	決算額	0円
	目的	名田島に新しい魅力を創出し地域の活性化を図り、地区内外の交流人口の増加を目指します。		
	実施内容	①フットパス「新開作・昭和コース」の新設に向けての試し歩きを実施 ②フットパス「向山コース」のイベント開催		
	実施時期	①12月8日 ②3月2日		
	参加人数	①生涯学習部会員 ②20人		
	成果	①アピールできる風景等、コース上の危険箇所等確認ができた。②雨天悪天候のため中止、後日、参加者へパンフレットを送付、次回の参加を文書で呼びかける		
	評価	①パンフレット作成に向けて、問題点等整理ができた。②市報を活用しての参加者募集について、名田島以外の山口市民に呼びかけ25人の定員を超える希望者があった。		
	今後に向けて	①6年度の取り組みをもとに「新開作・昭和コース」新設に取り組みたい。②既存の2コースのイベント開催に努める。		
③	事業名	一集落一事業	決算額	138,326円
	目的	自治会活動の活性化を推進します。		
	実施内容	単位自治会の行う自主的な活動に対して、その経費の一部を助成する。		
	実施時期	7月～3月		
	参加人数	8集落自治会		
	成果	集落における連帯感が生まれた。		
	評価	伝統行事等を通じて次世代に伝える事業が展開された。		
	今後に向けて	各集落自治会の事業促進を継続して図りたい。		